

学校だより

とかりがね

東根市立長瀬小学校

令和5年6月1日発行

150回長瀬小学校創立記念集會に寄せて

〈校長の話より〉

私たちの長瀬小学校 創立150年目のお誕生日おめでとうございます。

明治6年(1873年)5月25日 52名の子ども達が、校長室に絵がありますが「鈴木清音さん」の家で学び、長瀬学校が始まりました。これまでたくさんの方が長瀬小に学び、巣立っていきました。どれぐらいの皆さんが卒業したと思いますか。答えは4000人くらいです。みなさんのお父さんやお母さん、そしておじいちゃんやおばあちゃんも長瀬小を卒業した人は多いのではないのでしょうか。つまりたくさんの方の「つながりや絆・頑張り」で、学校が150年も続いてきています。

続くというのは、黙って何もしなければ続きません。人の努力でつながるのです。一人では決してできないことを、みんなの力を合わせることで、つながるのです。駅伝のたすきを思い出してみましよう。たった一人では、とても長い距離を走り切ることはできませんが、たくさんの方がたすきを受け継いでいくことで、長い距離を走り切ることができることを皆さんも知っているでしょう。これまでつながってきた・つないできたたすきを受け取りつなぐのは、誰でしょうか。ほかの誰でもない。今、長瀬小に学ぶみなさんなのです。

自分がそのたすきを受け取り、また次の人に引き継ぐために自分が頑張らねばという思いを強くもって、長瀬小学校で学んでほしいと思います。そんな皆さんの行動が、みなさんを温かく包み込む長瀬地区、そしてその中にある長瀬小を更に元気にしていくのです。

長瀬小学校にこれまで関わってきた「ひと」「できごと」「もの」に「ありがとう」の感謝の気持ちをもち、毎日毎日の学校生活を充実させていくことが「長瀬小のあした」につながります。力を合わせ、頑張っていきましょう。

秋には改めて150年を祝う会を、地域の方々、みなさんのお父さんお母さん方、そして学校(みなさんと先生方)で予定しています。今年一年、校内相撲大会もかりがね祭も運動会も、150年記念として行われる予定です。毎日の学校生活は勿論ですが、様々な行事でも力いっぱい頑張ることが150年をお祝いすることにつながり、学校は勿論地域にも元気がみなぎってきます。みなさんの頑張りを期待しています。

まずは3「あ」「あたりまえ・あした・ありがとう」、を大切に考えて生活し、150年を大いに盛り上げていく一年にしていましょ。

文責 校長 沼澤 徹

児童代表で、
2年 大内希子さん
4年 渡辺百葉さん
6年 笠井 祈さん
の3名がお祝いの言葉を発表しました。



創立150周年に合わせて、各学年で「150にチャレンジ」の取り組みを行っています。集会で紹介しました。

1年生「みんなで読み聞かせリレー150冊」

2年生「がんばりポイント150こ」

3年生「大豆でいろいろ150」

4年生「紅花150本育てよう」

5年生「大縄150回にチャレンジ」

6年生「自学150冊」

学校 NOW!

PART*

5月「つながり・地域との連携・挑戦」

「1年生を迎える会」

全校で「じゃんけん列車」



1年生からのお礼の歌とダンス



PTA 作業 土俵作り



南1区の結城さんより編んでいたいただいた藁で土俵を作りました。

3年～6年 「サイクルトリアル」



左右確認「気を付けて乗ろう！」



5, 6年生 「かりがね陸上記録会」



4年生を中心とした壮行式!



100M 走,リレー(全員),走り幅跳び,長距離走,ジャベリック(3種目から選択)と2日間にわたって競いました。

「150周年実行委員会」開催

23日(火)に実行委員会を開きました。式典委員会,環境整備委員会,編集委員会と3つの専門委員会の活動報告と計画を行いました。今後は11月18日(土)の記念式典に向けて専門委員会ごとに活動を進めていきます。

～「長瀬の教育百五十年史」の購入予約のお願い～
各ご家庭に予約の便りを配付しておりますが,記念誌の購入がまだの方は,ぜひ予約をお願いいたします。また,地域外の方へもぜひお勧めしたいと思っております。



地域・保護者の皆様に支えられて*ありがとうございます！



5年生
米作り開始



1年生
ほかとろを歩こう



6年生
長瀬を知ろう

5年生がかりがね少年教室で田植えを行いました。初めて木杵を転がして印をつけ、足を泥だらけにしながら元気に苗を植えていきました。体育着を泥で汚しても「楽しかった」という感想が多かった5年生。お米が口に入るまでにはたくさんの作業があります。これからの学習で調べて活動をしていきたいと思います。

1年生が生活科の学習で長瀬の通学路調べに出かけました。実際に通学路を歩くことで安全な歩き方や、安全を守ってくれる人を知ることができました。長瀬地区内を自分の目で見て、歩きながら周りの様子を観察し、新しい発見もありました。横断歩道は左右確認を必ず行い、自分の命は自分で守ることや長瀬のよさにも気づく探検でした。

6年生が6月に行われるウォークラリーに向けて、計画や学習を進めています。今回は、公民館長さんを講師にお招きし、長瀬の歴史についてお話を聞きました。お寺の数は？この地名は？この神社の由来は？…たくさんの質問に丁寧にわかりやすく答えてくれました。長瀬がますます好きになった時間でした。

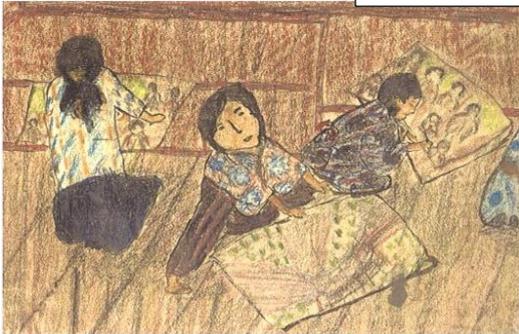
残そう！昭和の記憶！守り伝えよう！長瀬の宝！

今年度も画文集『昭和の記憶』を中心に、想画の記憶をたどります。6年生による心に響いた想画の感想を届けます。

昭和8年9月28日に行われた山形県指定「技能科教育研究大会」の資料の中から、当時の想画教育の一端をのぞいてみましょう。

【児童の環境について】 昭和8年頃の長瀬村の様子

- 人口 3,865人(男女半ばほど)
- 職業と戸数調べ
農業 458戸 商業 36戸 工業 31戸 自由業 14戸 無職 3戸
- 家畜と家禽調べ
にわとり 2185羽 うさぎ 383匹 ねこ 274匹 馬 84頭 牛 70頭
あひる 56羽 ぶた 50頭 やぎ 40頭 犬 15匹



私も図工などで図画を描きますが、想画の中の子供はどんな絵を描いているのか気になりました。この「図画かき」の女の子は、どんな絵を描こうかなと考えているような表情がとても印象的でした。 6年 安達 詩菜

想画まめ知識

当時を思いめぐらす時、目に浮かぶものは早春の田、田になく蛙、村社のお祭り、猪子踊り、たにし汁、堀と泥まみれの子供達、どじょう汁、なまずあぶり、堀の蓮の花とエメラルドの葉、がつごと風、中秋の稲田、黄金の色、いなご、稲の取入れ、冬の夜、夜仕事、猫、子どもと土、子らは土に親しむ、土とともにある。子供たちはこのような環境で想画を描いたのである。



僕はこの代かきの様子を見て、手作業や馬で作業をしてすごいいいと思いました。今は機械で田植えや代かきをしています。この想画は昔の田植えの様子を伝えているし、大変さが伝わってきます。 6年 阿部航大